

# 無言燈

## MUJINTO

No.145

2020

### 特集

- 輝く☆同窓生 伝統ある家業をどう継承するか その攻めと守りを語る
- 大谷大学と私 築山 修道 名誉教授
- 新型コロナウイルスにおける大谷大学の対応及び同窓会活動について



大谷大学同窓会

ニシワキ

# 西脇 一博さん

(1989年度・文学部哲学科卒)

カズヒロ

# 博さん

(西脇豊敷物店 店主)

---

×

カキモト

# 柿本 遼平さん

(2007年度・文学部国際文化学科卒)

リョウヘイ

# 平さん

(柿本商事株式会社 専務取締役)

---

インタビューー 無盡燈編集委員
ワケミ 采華
アキラ 晃 (大谷大学准教授)
対談日 2020年2月

## 輝く☆同窓生

### 伝統ある家業を継承していくために、 守りながらも攻め続ける

#### さまざまな人間と出会う衝撃

**采華** 今回の「輝く☆同窓生」では、代々続く家業を継承するために、様々な取り組みをされているお二人に、お話を伺いたと思います。まずは、どういうふうにお大谷大学を選ばれたのかという辺りからお聞かせ下さい。

**西脇** 家から近かったことがまず一つあり、なんて言うのでしょうか。上品な感じでした。仏教関係の大学だということももちろん知っていました。小学校2年生のころからボーイスカウトの活動を、真宗大谷派のお寺でやっていました。そこのご住職さんがたいへん立派な方で、きりっとした、関西弁でいうとシュツとしているような、そんなイメージの方でした。

そのようなことから子どものころから知っていたので馴染みのある大学ということで受験しました。

**柿本** 私は小学校6年生から英語を勉強してまして、勉強自体は得意ではないのですが、英語だけはすごく好きで、中学校でも楽しんで勉強しましたし、高校時代に留学をしていた時期もありました。大学でも何か英語と関わりを持てる勉強がしたいと考えていた時、大谷大学に国際文化学科があることを知り、アメリカには行ったことがなかったのですが、アメリカ文化を勉強したいと考えてまして、それで選ばせて頂きました。

**采華** 実際に入学されてどうでしたか。

**西脇** 入学して最初に思ったのは、世の中にはいろいろな性格の人がいるんやと気づいたことです。小学校から高校まで全部地元の学校で、大谷大学も地元といえば地元ですが、やっぱりお寺の息子さん、娘さんが全国からたくさん来られますし、インド等いろいろな外国の方も来られています。地元の中だけですと予想さ



西脇 一博さん



れる範囲内の交流関係でしたが、こんな考え方もあるんやとか、九州の人はこんな考え方をするんやとか、北海道の人はこんな考え方をするんやなど、やっぱり人との出会いですかね。大谷大学は「人」がテーマでしょう。だから人との出会いが一番大きいですかね。

**柿本** 私は入学時に大学のイメージは描いていなかったのですが、若葉祭において、色々なサークルの方が新生を勧誘されていたり、屋台を出されていたり楽しい雰囲気の中で、大学のサイズ感としては非常にコンパクトな学校だなという印象を受けました。違う学科の人ともすぐに知り合えて友人になれるという意味でも、先ほど西脇さんがおっしゃった人とのつながりが非常に築きやすい環境だと思いました。

**采華** 大学は変人奇人がいっぱいいますが、その人が変人奇人だと気づくためにはある程度付き合いが要ります。そうすると、色んな人と付き合わざるを得ないコンパクト感も必要なのかもしれないですね。

**西脇** 今思い起こせば、良い意味で教員の方も変な人が多かったと思います。やはり、谷大の先生の個性の



柿本 遼平さん



豊かさは衝撃でした。

私は哲学科だったのですが、哲学の先生は誰をとっても良い意味でおかしかったです。哲学の先生は答えがないことを勉強されています。それを20歳そこそこで学ぶことができたのは良かったと思います。変わった学問でした。

**柿本** 私が印象に残っているのは古川哲史先生です。アメリカの黒人の歴史や文化の研究をされていたという事や、アメリカの刑務所で受刑者に異文化理解の授業をしていた経験があるという興味深い背景をお持ちの先生でした。先生の実体験から伝えられる授業はとても臨場感があり面白かったので、食い入るように受けていたのを覚えています。卒業後の進路でも相談に乗って頂いたこともありますし、非常に印象に残っています。

### 家業を継ぐ

**采筆** お二人はどちらとも家業を継いでおられます。西脇さんは、最初証券会社に勤められて、そこからまた違うところに行かれました。すぐに継がれなかったのは何か理由があったのですか。

**西脇** 当時はバブルで本当に景気が良かったのです。それで谷大の一つ上の先輩が来られて「景気が良いから一声かければ受かるから就職しろ」と言われ、それなら就職試験を受けてもいいかなと思いました。でも、一応長男なので父に言ってみました。「先輩が証券会社に来いと言っている。東証二部上場(今は一部上場)なので結構大きい会社に就職できるらしい」というようなことを言ったら、父に「就職してもいいよ」とあっさり言われて驚きました(笑)。逆に寂しかったくらいです。それで10年間やって、また谷大の先輩からの紹介で、コンビニとかスーパーに食品容器を卸している商社に転職しました。

その後、33歳のときに家業を継ぎました。何となくそろそろ豊のことを覚えないとまずいなと思って、父に言ってみたら、「それなら明日から来たらいい」と。「まだ会社に辞めると言っていないので明日はちょっと」と言うと、「じゃ気が向いたときに来いや」と、本当にあっさりという感じでした(笑)。



采筆 晃編集委員

**柿本** お父様はすでに引退しておられるのですか。

**西脇** 父は77歳で今も働いています。今日も滋賀県まで配達に行っています。やっぱり職人なのでしょうね。止まると死ぬと言われる人がいますが、まさにそのタイプです。

**柿本** お父様と仕事で衝突みたいなものはありましたか。

**西脇** 前向きな衝突はたくさんあります。例えば、今はメールやファックスがあるのに、図面を書いて、お客さんのところに郵便で送って、2日後に「こんな図面でやるんや」と、そんな非効率のことをしている。帳簿も手で書かなくても伝票を入力すれば確定申告までできるのに、いったん紙に写して税理士まで持って行って税理士が申告書を書いて。「同じことだからこっちのほうがいい」と言っても、「あかん、うちはこれ」みたいな。

私も柿本さんも、攻めの姿勢がよく出ている方でしょう。それでも、今の学生からは、私たちは保守的に見えるでしょうね。私たちは、学生を危なっかしいなあと思ってしまいます。それと同じように、同じものを目指しているのに違う対処方法を言っているというのがあります。

逆に、それぐらいしかありません。

**采筆** 今みたいなご質問が出るということは、柿本さんもいろいろあるということですね。

**柿本** いろいろありますね。私は卒業してから2年間アメリカに行き、ビジネスの勉強をしました。そして帰国当初、弊社には、

チラシ・ポスター・カレンダーなど商業印刷に使われる紙卸の本店営業部があるのですが、私はそちらの事務所で働き始めました。私として



アメリカ留学時の友人達

は、社内の業務を把握する為に各部署を何か月かごとに回りながら会社全体の業務を覚えていこうと考えていましたが、社長からそんなことはしなくていいと言われました。

入社当初、「恋文大賞®(現 言の葉大賞®)」という作文コンクールの応募作品を整理する仕事を行うよう指示されました。そこでは、受賞作品をどの作品にするか、授賞式の進行をどのようにするかなどで、意見の食い違いがありました。当時は根本的に考えが違っていたと思いますが、私の経験の浅さからだと、後で理解をすることも多々ありました。そのように考えてみれば、今でも日々学ばせてもらう事が多いです。

**采筆** それは西脇さんがおっしゃるような前向きな衝突ではないですか。アメリカの留学から帰ってこられてスッと家業に入られたのですか。

**柿本** そうですね。大学在学中には、なりたいたいものとか、こういう職業に就きたいという夢は、正直持っていませんでした。そんな中で第3学年になり、周りが就職

活動をしている中で、私もセミナーに行ったり、いろいろな先輩の話を聞かせて頂いたりしていました。ある時に父親と話をしていまして就職活動を始めていることを知られて、「お前はなんで就職活動をするんや」と言われ、「えっ!？」と思いました。私の中では西脇さんみたいに一度外に出ていろいろな経験を積んでから家業を継いだ方が、という考えもありましたし、正直最初からすぐに入る考えはなかったのです。

その時に「留学という選択肢もあるぞ」と、父が私に言ってくれました。今のご時世だからこそそういう能力も必要だということと、私が英語を好きだったということで、手を差し伸べてくれたのです。口数もそんなに多い方ではないので、あのときの記憶は今でも覚えています。それから『地球の歩き方』を見ながらアメリカのどこに行こうかなと調べたり、ICCという留学オフィスを訪ねたりしました。

2008年に大学を卒業しまして、9月から翌年の7月までの約1年間アメリカのボストンに行ったのですが、もう1年シアトルに行きたい学校がありました。しかし、その学校が始まるのが2010年の4月からだったので半年ぐらい時間がありました。それで、父親に相談し、いったん入社をさせてもらいました。



### 主役を超えて

**采筆** お二人の活動で非常に面白いと思うところは、失礼な言い方になるかもしれませんが、畳にせよ紙にせよ、主役にはなりにくいものです。そういうことをお仕事になさるということについてどんなふうに考えていますか。また、畳の楽器や「言の葉大賞」とか、従来の在り方を超えたものがもたらすものは何でしょうか。

**西脇** やっぱ素材の優秀さですかね。畳も紙もそうだと思いますけれども、やっぱり長年使われてきていますし、人間の文化に絶えず寄り添っています。そういう部分が最大の強みでしょうね。私たちは、それをいかにお客さんに適切な方法で供給するか、ということなんです。どれだけ派手でインスタ映えする料理で



も、素材が悪かったら流行りません。素材の素晴らしさがあるからこそ、いろいろと自由なことができていますのだと思います。

素材としての素晴らしさがあるからこそ、畳でいろいろなものを作りたくなるのです。四角い畳ばかり作っているとだんだんマンネリになってくるのです(笑)。これは私がよく言うのですけれども、男子高校の近くの散髪屋さんだったら、ロン毛やパーマや脱色が校則で禁止されていて、みんな同じようなスポーツ刈りをするようになっていでしょう。でも、たまにはアフロヘアやドレッドヘアがしたいと思うでしょう。それと一緒に、畳で何かみんなにすごいねとか、輝いているねとか、とんがっているねと言われるようなものを作りたくなるのです。

畳でサーフボードとか、ピアノとか、和室なのにパットゴルフができるコースを作ったりしてるのも、最初は気づかなくてもその素晴らしさを知るきっかけになったらいいなということなのです。

当初はバンドをやるつもりはありませんでした。音楽が好きなお客さんが集まって、バンドになって、今も活動を続けています。海外でも台湾やマレーシア、韓国などで演奏をしました。年間30回ぐらいライブをやっています。

畳というのはそもそも茶の間や大広間や茶室などのコミュニティツールの中にあるものなのですが、違うタイプのコミュニティツールとして通用したのがおもしろいかなと思っています。



台湾でのコンサート

**采筆** なるほど。役割が変化しているというのは面白いですね。柿本さんの活動にも同じような面白さを感じます。

**柿本** 弊社の企業理念は「紙を通して文化を創造する」



なのですが、西脇さんも「畳を通して」という考えの中で文化の重みというのは一言で語ることはできないでしょう。やはり今こういうITの進化とともに色々なものが便利になっている一方で失われているもの、私でさえも子どものときに当たり前にあったものが今は無くなってきています。そういう環境の中で、日々を過ごしていると、願いたくはないですが、近い将来に紙の書籍が失われ、文化の遺失に繋がってしまうのではないかと思えるのです。そうした中で次世代への紙の伝承方法として、現社長が「恋文大賞<sup>®</sup>」を始めたのがまずきっかけでした。着想としては昔から人が想いを伝えるときには手書きの手紙を相手に渡して伝えていたと、それを何らかのかたちで再現できないかということが始まりです。文字・活字文化の推奨、それは手書きを通してコミュニケーション能力・創造力を高めることにも繋がるのではないかと思います。そして年々教育機関からの応募が増えてきたこともあり、第5回より名称変更をし、今の「言の葉大賞<sup>®</sup>」という形になるのです。

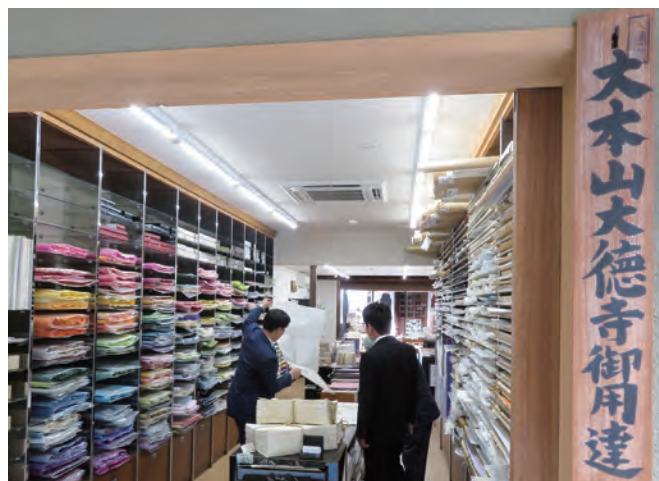
和紙も畳もそうだと思いますが、個々の存在としては常に主役である必要もないのではと思います。でも、和紙も畳もその空間になれば完成しないのも事実です。そこにほんまもんがあるからこそ、その環境が成り立つ、それが大切だと思います。和室の環境を一つとりましても、和室というものがどういうものか分かっておられる方にとっては、畳や和紙は自ずと絶対必要条件の中に入ってきます。「言の葉大賞<sup>®</sup>」に作品を書いている子どもたちも、いつか物事の中にある本質を分かってくればいいなという考えでいます。



### 攻めと守り

**采筆** 畳にせよ紙にせよ、新しい形式を生み出していないと難しいことでしょうし、それと同時に守っていかねばならないものもありますよね。老舗と言われるレベルまで続く家業に携わっておられて、意識しておられることはありますか。

**西脇** 畳は一時と比べると減っているのですけれども、



実は減り始めたのは平成になってからぐらいで、それまでは普通に増えていたのです。畳も減っていますけれども、畳屋も減っています。例えばお寺が寄付を集めて畳替えをしようとなったときに、それができないぐらい職人が減っています。年配の職人さんが亡くなって畳屋が無くなっても、ライバルが減って良かったというレベルではないのです。文化は失われて初めてその大切さに気づくと言われますが、今ここで何とか頑張らないといけないなと思っています。畳は、減っているどころではなくて、今何とかしないといけないラインまで来ているのは間違いありません。もっとも、民泊とかゲストハウス、空き家の再生、古民家カフェとかの需要で、ここ2年ぐらいは増えているかもしれません。右肩下がりのイメージがあるかも知れませんが、皆さんが思うほど落胆していないというか、明るくやっています。

今一番しないといけないことは、生き様・働き様を見せることだと思います。そして、今はそれができる世の中です。私たちが働いている姿を動画でみんなに見てもらおう。失敗して手を突いて血が出ているとか、一所懸命夜遅くまでやっているとか、何でもいいのです。昔は、お客様はその工程を知らなくてもきれいになったからとお金を払って下さいました。今はそういう文化に触れるとか自分の家の畳がどういうふうな成り立ちであるのかということも含めて、どのような気持ちで、あいつはどんなことをしているのか、ということを本当に包み隠さず見てもらえたらいいなと思っています。

私の店に関しては、大宮通りから見えるところで畳を作っています。だから、畳の修理を出した人は工場に見に来て「あいつさぼってないか」と一所懸命に作っているところを見ることができます。お客さんにいつ見てもらっても恥ずかしくない仕事、「あいつまじめに働いているわ」とわかってもらえる仕事をするのが大切だなと思います。よく外国人が店先の私の姿を撮影していきます。「これが日本のトラディショナル文化の妻

腕職人だ」みたいなことをSNSで書かれたら変なことはできないなと思うこともあります(笑)。でも、そうならみんなに理解してもらえます。いい時代だと思っただんどん取り入れています。もっと挑戦する時でも、私も古いので守ることの大切さをわかっている世代ですけれども、ここ10年20年というのは攻めながらも守れるようになりました。今は発信していても同時に守っていけるという世の中になっていると思います。

**柿本** 弊社も西脇さんと同じような考えを持ちながら進みたいのですが、守りの面においては避けては通れない、超えていかなければならない大きなハードルがあります。先程もお話をした紙の需要衰退はもとより、和紙の分野では、手漉き和紙の生産者の数が減っているということです。私もそれこそ10年ぐらい前に初めて黒谷和紙の産地に伺ったときに、生産者の方といろいろお話をさせて頂いたのですが、30年も前には54軒の家の中に専用の紙漉き場があったのですが今残っているのはたったの1軒です。それではなかなか生計をたてるのが難しい。そういう環境の中でも丁寧に1枚1枚の紙を私たちのために一生懸命お作りいただいています。その1枚1枚を扱える私たちはその環境こそ幸せだと感じないといけませんし、商品をお渡しするお客様に向けてもその生産者の思いと一緒に届けることが大切だといつも感じています。

**采筆** オタク文化がものすごく流行っています。彼らは、たかだか一つのモノに膨大な背景を読み込みます。それに触発されて、私たちはたった一つのモノやコトからでもいろいろな物語を見出し得るのだということに気づいてしまった。売る側からすると、モノだけにすがってモノを売るのは難しくなってきたのかも知れませんね。

**柿本** それはそうですね。近年はプロダクトに対する思いやストーリーが大変重要視されてきていると感じます。そんな中で、紙を通して何か新しいことができるかはずっと考えていました。この「御酒印帳®」という企画もその一つです。今流行りの御朱印帳をお酒に変えたのです。集めていただくのはお酒のラベルです。ラベルを集めることをきっかけに、従来の日本酒のファンだけでなく新しいファンの方も増えてきています。これをやるにあたって、酒蔵さんに、この「御酒印帳®」を持ってこられた方にラベルを渡して下さいとお願いしているのですが、酒蔵さんにとってラベルは大切なブランドですので、渡すことをためられる方もたくさんおられました。ただ、私たちがいつもお伝えしているのは、酒蔵さんと一緒にプロジェクトをやることで、いろいろな地域の方々とのつながりを広げていきたいということです。そこから新しいビジネスプランや人脈から生まれる次への可能性へと広げていけ

ればと思っています。

例えば、金沢の酒蔵さんにもご協力を頂いているのですが、長い歴史を持つ酒蔵さんでも期待されているのは、新しい客層です。ただ単に日本酒が好きだけでなく、こういうことをきっかけに新たなマーケットの創出ができればという期待も込めています。私たちも酒蔵さんと実際お話しさせていただくときは、「私たちだけの商品が売れて良い思いをしたいわけではありません、酒蔵さんへも多くの方に訪問して頂き一緒にプロジェクトを動かし、お互いが喜びを分かち合えればいいですね」と話しています。

また、プロジェクト開始当初より、旅行会社さんからバス旅行の企画として取り上げて頂いているのですが、今年も実施するとの連絡がきました。一日で幾つかの酒蔵を回る企画が毎週末に実施されるのですが、ほとんど満員です。本当にありがたいことです。

**西脇** バスツアーですから、飲酒運転の心配もありませんね。

**柿本** これがきっかけで、7月からこの続編のお話があります。

また、昨年から、京阪電鉄様とのタイアップで「御酒印さんぽ」というイベントが始まりました。伏見を代表する多くの酒蔵さんを御酒印帳と一緒に巡るというイメージをしてもらえればと思います。



### 面白がる

**采筆** でも、新しいことは怖いですよ。失敗する可能性もありますし。

**柿本** やはり未開の地に飛び込んでいくのは、先が見えない怖さがあります。ただ、仕事というのは一人で始めて一人で終わるわけではありません。その先には相手さんがいらっしゃいます。そのような事から綿密なリサーチ、マーケティングが必要になります。ただ、あらかじめ手に入れたデータをもとに動いても全然違う要素が入ってくることが多々あります。もちろん、リスクヘッジを考えながら挑戦ができるしっかりとした戦略・戦術と、実行するタイミングが非常に重要です。



西脇さんと同じく守りながら攻めるということです。今これだけ情報化社会になってきて、多くの情報が30年、40年前に比べると手に入りやすくなりました。その一方で、あらためて私たちは足で稼ぐという古からの手法も必要だと思っています。

実は、先ほど紹介した「御酒印帳」のガイドブックを出版したのですが、「どの酒蔵が登録されているか分かるものが欲しい」というユーザーの方からの声を聞き作ったものです。これを多くの人に手に取って頂くために、書店営業に行きます。最初は、どういう話をしたらいいのかわかりませんでした。だから、そういうところから勉強を始めるのです。例えば店舗数の多い書店様だったら本部直轄で仕入れと出荷をして頂く方法もあります。けれども、書店様によって、各店舗の裁量で仕入れる書籍を選定されているところもあります。そのような事から、現状としては、直接訪問し、担当者の方と直に話をします。今では、時間をみつけて大阪や他のエリアの書店様へ訪問し、直接担当者の方々と話をしています。そういう伝統的で地道なことも、そこから見えてくるものもあります。

**采筆** 地道なことと仰いますが、おもしろがっておられることがお話を伺っていて感じられます。やっている本人がおもしろがらないと、その姿を見せても「あの人つまんなそうやな」となりますからね。

**西脇** 自分の生を心から本当に楽しんでいるとは思えない方がたくさんいらっしゃると思います。いろいろなしなみがあって、いろいろな出来事があります。そんな中でも、せっかく生まれてきたのだから情熱を爆発させて生きていきたいですね。

しかし、柿本さんもそうですが、私も古い家に育っているのです。むやみやたらと新しいことに手を出すわけにはいきません。また、無責任に新しいことを始めて、失敗してもいいやともいきません。自分のバックボ-

ンというものがちゃんとあって、そこに根付いているということ、頭のどこかで感じながらやっています。一つや二つ失敗しても先祖代々お世話になっているお得意先とかご近所の方とかに守られているということはあるありがたいことです。だから思い切ることができるのかなというところはあります。

**采筆** 若者の表現で「やばい」というのがあります。最初は否定的な意味だとばかり思っていました。それが「この店、めっちゃやばいし、毎日通いそうやわ」というのを聞いて、積極的な意味でも使うことに気がきました。自分の常識のちょっと一歩外側にある感じのものを「やばい」と言っているのかも知れません。

**西脇** 「やばい」ということが良いことだとしたら、親鸞さんなんかは仏教界ではものすごく「やばい」ですよ。だからファンがつくのですよ。そう思います。

**采筆** 表現方法などは時代や状況によっていろいろ違うのですが、ちょっと「やばい」ところに一歩踏み出すということがものすごく大事なのかなと思います。本日は、楽しい時間をいただきありがとうございました。



#### ■ 西脇豊敷物店

創業 明治2年(1869年)



京都市上京区大宮通寺之内上ル  
仲之町493

☎075-441-5525

ホームページ

<http://www11.plala.or.jp/nishiwakitatami/>

主な事業内容 畳製造業、室内装飾業



畳製造者として、畳を取巻く住空間の研究、京町家の再生など畳文化の継承に努力しています。また近年の住環境や志向の変化に対応し、インテリア部門「インテリアニシワキ」はトータルリフォームを視野に入れた幅広いニーズに対応致しています。

労働大臣認定一級技能士の店/京都畳商工協同組合加盟店

京都青畳会加盟店/各派社寺御用達

「京の老舗」表彰店/畳殺菌乾燥機設置店

#### ■ 柿本商事株式会社

創業 弘化2年(1845年)



京都市中京区麩屋町通三条上ル  
下白山町310

☎075-211-3481

ホームページ <http://www.kyoto-kakimoto.jp>

主な事業内容 洋紙卸・和紙・和製品小売・出版事業・リテラシー事業  
沿革

1716年(享保元年) 柿本 竹屋長兵衛の屋号にて竹の商いを始める。やがて若狭の親戚から長兵衛のもとへ養子として迎えられた金藏は斬新な発想の持ち主で、「町内みんなで竹屋をしても知恵がない」と、1845年に紙屋を創業。その進取の気性は、2代目乙五郎 3代目 藤次郎 4代目 新太郎 そして当代 新也へと受け継がれていきます。そんな歴史の中において昭和51年(1976年)にショップ&ショールーム「紙司柿本」をオープンし、一般の方々にも紙の素材を提供するようになりました。「柿本」が積み重ねてきた足跡は和紙から洋紙、紙製品へと紙の可能性を追求する歴史へと変化し、今も次の方向へ進化の歩みを研鑽しています。



# 大谷大学と私



名誉教授  
築山 修道

## 大谷大学での学究生活と教育

私が大谷大学に入学したのは1963(昭和38)年。外国の文化や言葉に強い関心をもっていただくと、本学は第一志望校ではなかった。しかし受験に失敗し、また真宗寺院に生まれ、京都の大学で学びたいという熱い思いをもっていただくと、自然と大谷大学に入学することになった。当時の谷大は授業料も安く、少人数制のクラスやゼミが多く、また何よりも自由で学究の雰囲気濃厚な学舎であった。

2年生までは勉学よりも、京都での学生生活を楽しんだ。3年生になって、専攻を決めなければならぬこととなり、英文学を学ぶことにした。その時英文学を選択したことはその後の私の大谷大学での学究生活と教育に深い関わりをもつことになる。英文学科での2年間は自分なりに勉学に励み、卒業論文には英国の小説家E・M・フォースターの作品『ハーズ・エンド』を取り上げ、「英国における人間関係と大地性」をテーマに論考した。そして自分なりに勉学の成果を得ることができ、本学での4年間の学業生活は全体としてほぼ満足しうるものであった。

しかし同時に、何か物足りなさというか、心の奥底に満たされない空虚感のようなものがあつた。それは研究文献、教員スタッフなどの学問的環境の不備に起因するものではなく、自己自身の内面的問題であることに気づき、かかる課題に 대응するのは哲学か宗教であると思ひ至つた。その時幸運にも、当時本学大学院の教授であつた西谷啓治先生の世界的名著『宗教とは何か』をたまたま読む機会に恵まれ、ここにこそまさしく自分の求めるものがあると確信し、躊躇なく西谷先生の許で宗教哲学を学ぶべく大学院に進学することを決心した。

本学での西谷先生とのこのような値遇は、以後の私の学究活動、教育、学友との交流関係等人生の全体を

貫く決定的に重要な意義をもち且つ原動力となつた。その後私は、ドイツ語圏の近世宗教哲学、現代の実在主義思想、西田哲学、鈴木大拙の宗教思想の研究を主に進めていくのであるが、その間20余年に亘つて学内外で先生から賜つた学恩は測り知れない。私が西谷先生から身をもって学び得た最大の事は、「哲学すること」、換言すれば、何処までも主体的・自覚的「己事究明」である。それは個々の哲学的知識ではなく、哲学的思惟そのものの在り方である。

また、宗教や仏教研究の学場としての本学の意義、清沢満之、鈴木大拙、曾我量深、金子大栄、山口益等大家の先生方のお仕事の本当の意義を世界的視野から自分なりに次第に了解し得るようになったのも西谷先生の薫陶を受けたがゆえである。

最後に、教育について一言触れておきたい。長年私は一般教育の英語の授業を担当してきたが、1994年—95年の1年間、英国のケンブリッジ大学(客員教授として)とノッティンガム大学(学生として)で在外研究の機会を得た。そして帰国後、国際文化学科のゼミを担当することになり、その時の貴重な経験が大いに役立ち、確信をもって教えることができるようになった。本学の学生諸君には是非一度何かのかたちで在外生活・留学の経験をして欲しい。得るものが大きいからである。

## 略歴紹介

つきやま しゅうどう  
築山 修道 名誉教授

- 1943年12月 愛知県に生まれる
- 1967年3月 大谷大学文学部卒業(英文学)
- 1970年3月 大谷大学大学院修士課程修了(哲学)
- 1973年3月 大谷大学大学院博士課程満期退学(哲学)
- 1986年4月 大谷大学講師
- 1993年4月 大谷大学助教授
- 1994年4月—1995年3月  
大谷大学在外研究員(英国ケンブリッジ大学とノッティンガム大学)
- 1999年4月 大谷大学教授
- 2004年4月—2006年3月  
大谷大学短期大学部長
- 2009年3月 定年退職
- 2009年4月 大谷大学名誉教授

【専門】 宗教哲学

【著書・編集・論文】

- 『西谷啓治著作集』第24巻—26巻大谷大学講義(3巻編集、創文社)
- 『キェルケゴールを読む人のために』(共著、世界思想社)
- Kierkegaard and Japanese Thought(共著、Pargrave Macmillan)
- 「西田の親鸞・真宗観における哲学と宗教」(『西田哲学会年報』第5号)
- 「鈴木大拙の靈性的自覚の一考察」(『宗教研究』365号) など





## 同窓会支部だより



### 谷大同窓生の つながりの歓びに

湖東支部長 深尾 浄信

湖東支部は滋賀県琵琶湖の東に位置しています。近江八幡市、竜王町、東近江市、日野町、愛荘町、彦根市、甲良町、豊郷町、多賀町の3市6町からなり、平野部が大きく開け、穀倉地帯や交通の要衝として栄え、近江肉牛の飼育も盛ん。近江商人を最も多く輩出した地域でもあります。今も、戦国跡、伝統的な歴史・文化的遺産も多く景観風靡な地域でもあります。

支部同窓会員は約1600名、寺族関係者は2割弱です。会長・事務局役員は近江八幡・東近江・彦根ブロックから2年任期で輪番制となっています。

従来、講演会・支部総会会場は担当ブロックの地域での開催でしたが、2018・2019の2ヶ年度は趣向を変え、新教室棟などキャンパスの環境空間も整備された母校での開催となりました。情報システム機器に感嘆。

「未来につなぐ」懐かしさと、新鮮さが交響する「朋に語らう」慶間館4階マルチスペースでの懇親会は、学生食堂のご馳走に趣を超えた集いとなり、味わい深いものとなりました。

しかし、2017年度まで何とか個々に案内送付を続けてきましたが、経費負担が多く、『無盡燈』同梱方法に頼ることになりました。支部会費納付や音信ある関係者には個々案内を続けているが参加者数に大きな変化はありません。担い合う一人でも多くの役員25名中、40代前後の幹事や寺族関係外の幹事も活動願えることができてきて、「相互共存するいのちの歓び」をしっかりとつなげていける活動を紡いでいくことを共有してまいります。

新型コロナウイルス感染で世界中が寄り添うことも許されない厳しい状況の中、今夏の公開講演会も中止のやむなきです。

湖東支部会員様は、別紙「お知らせとお願い」をご覧ください、ともに困難な時を乗り越え、つながりあう歓びに集い、お会いできる日を楽しみにしています。

ご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。



### 賑やかな会の実現の為に 若い人のつながり・発信力を!

北九州支部長 村上 秀麿

北九州支部は、福岡県の東部、北九州市・京築・田川地域がその範囲となります。昨年(2019年)の時点で会員数は170名、その内約6割が寺院関係者です。

毎年の「支部総会」及び「公開講座」は、お盆の行事が終わって一段落ついた8月下旬に実施しています。会場は、小倉・行橋・田川の3地区を持ち回りで実施していき、行橋と田川のときは寺院を会場に、小倉で実施するときは小倉駅に隣接したビルの会議室を利用しています。

また、5年ほど前から地区ごとにお世話して下さる方をお願いし、誘いかけをはじめいろいろとご協力をいただきながら取り組んできました。しかし、参加者はいつも20名前後で顔ぶれもほぼ固定化しています。

同窓会員の皆さんが関心を持って参加して下さるにはどうしたらいいのか。また一般の方への案内は特別にしておらず、寺族の皆さんの誘いかけに頼っているという現状をどう考えるのか。日時・曜日・会場の設定、案内の方法な

ど今までのあり方を見直し、何らかの工夫をしていかねばならない時期だということを感じています。

幸い当支部には若い会員が多くおられて、協力下さっています。今後はそういう方々のご意見も伺いながら、在学時の横のつながりやSNSを使った情報発信などによって活性化が図れないかと考えています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、先が見通せない状況ですが、今年12月5日(土)には福岡市で「大谷大学フェア(九州)」の開催を予定しています。たくさんの方においでいただき大谷大学をアピールできるよう九州内各支部の皆様のお力添えをいただきながら共々に取り組んでいきたいと思っております。一日も早い感染症の終息を願ってやみません。



# 同 窓 通 信



## 人生に彩(いろどり)を

磯部 加奈子(サンコーインダストリー株式会社)

思い返すと、第2学年から始まったゼミでの経験が、大いに影響を及ぼしている。

まずは「環境」。同級生の数は少なかったが、幸いにも「歴史が勉強したくて進学したメンバー」に恵まれた。研究に没頭しても笑われることなく、ふとした疑問や閃きをすぐに話し合え、研究室に行けば誰かに会うことができた。「興味・関心と一心に向き合える」という豊かな土壌があるからこそ、人は育つことができると実感した。

そして「知識」。研究旅行で出雲に行った際、荒神谷遺跡と国分寺跡に大いに感動したことを覚えている。紙面をなぞるだけでは解らない「行って、見て、体感してから考える」ということ。そして「知識があれば“ただの田舎道”が“千年の時を経た世界”に変わる」ということ。「知っている人しか享受することができない世界」は、そこかしこに存在していることを知った。

谷大は志望校ではなかった。だから4年間はなんとなく過ぎていくんだろうと思っていた。今にして思えば、それが大きな間違いであることがよく判る。「ここに通いさえすれば、こうなれるはずだ」と、自分の未来を人任せにしていただけにすぎない。どこにいても何をやるにも、自分から働きかけなければ何も得られないのだ。

現在は、企業の新卒採用・内定者研修担当として、採用戦略を立てて遂行したり講演や研修を行っている。その中で、特に就活前の学生には「英語学科の人が大学時代に学んだことは“英語”ではありません」と話している。同じ“英語”であっても、“翻訳”に尽力してきた人は、粘り強さや表現力・伝える力が鍛えられたはずである。また“会話”に尽力した人は、母国語以外の言葉で文化も歴史も違う人たちと交流を図れる社交性や相互理解力が備わったはずである。そういった「英語を通じて磨かれたあなた」を教えて

ほしいと伝える。すると彼らの表情は一気に緩む。「大学の科目を仕事に活かさなければならぬ」という魔法を解いてあげたい。私は、学科は学科、部活は部活と切り離しては何も生きてこないと考える。学科に所属している私も、部活をしている私も、最終的に“私”として繋がるから、様々な場面で「物事を通じて磨かれた私」が生きてくるのではないだろうか。

数年前、国家資格キャリアコンサルタントに合格し、今は、TA(交流分析)とNLP(実践心理学)の勉強をしている。これらはきっと、知らなくても十分生きていける。また、現代では検索すれば何でも手に入る。何もしなくてもそれなりに生きていけるだろう。

だからこそ私は、世の中を知りたい、知る人にしか見えない世界を見たい、より濃密な人生を送りたいと思う。そのためには、誰かが何かを準備してくれるのを待っている時間がない。未来を創り、人生を彩るのは、自分の働きかけ次第なのだ。  
(2008年度文学部史学科卒)



### 支部長・事務局交代(同窓会本部 2019年4月2日以降、2020年4月1日現在掌握分)

○支部長交代

〈三条支部長〉 光井 光磨  
2019.07.19付就任  
(前支部長 清水 幸栄)  
〈富山支部長〉 五十嵐浄和  
2020.04.01付就任  
(前支部長 大伴 修一)

〈大阪北支部長〉 山口 知丈  
2019.09.13付就任  
(前支部長 難波 明則)  
〈大阪南支部長〉 北畠 顕諒  
2019.09.13付就任  
(前支部長 長谷 俊成)

〈神戸支部長〉 五百井正浩  
2019.09.01付就任  
(前支部長 廣田 晋)

○支部事務局交代

〈十勝支部〉 中西 朋尋  
2019.07.14付就任  
(前支部事務局 齋藤 悟)  
〈三条支部〉 中山 哲  
2020.02.01付就任  
(前支部事務局 天兒 悠)



## 私の学びはなにであったのか

大谷大学教授(真宗学) 加来 雄之



安田理深(1900～1982)師は、還暦の年、洛南の東寺において、20世紀を代表する神学者P・ティリッヒ博士と対話した。博士が「人間にとって宗教はどのような意味をもつと思いますか」と尋ねたとき、師は間髪を入れず「宗教がなくて人間といえますか」と応えたという。

先日、中国出身の親鸞研究者が、仏教伝道協会の受賞スピーチにおいて「私は、親鸞を通して出遇った真実を、中国の若者たちに伝えていきたい」と陳べていた。

思えば、親鸞は、人の世における完全な依り処、つまり真宗を求めた人であり、そして、その真宗を本願他力の教えに見いだした人であった。

親鸞は、真宗を教義として語ったのではない、みずからが法然上人を通して出遇った真実を、人間であることの深い悲しみを、如来の弘い願いを、過去・現在・未来の無数の人びとの声なき声を、伝承のなかに証しされてきたことばのなかに聞きとり、どこまでもどこまでも厳密に語ろうとつとめたのである。

私たちは、資本主義という過酷な社会体制のなかを生活しているのだが、この原稿を書いているとき、新型コロナウイルスによる感染症拡大が、その社会の隠されていたひずみを、これでもかというほど露見させつつある。この現実を問い返す視座が実現できないならば、私の学びはなにであったのか。もし教義によって、この現実を解釈したり、現実から逃避したり、現実を非難することに終わるならば、私にとっての真宗とはなにであったのか。

人間のあらゆる営みを生きることの根底から問い直し、受けとめなおし、歩みなおすための眼差しが真宗であるならば、それはすべての人間の究極的課題ということになる。わたしがこの大谷大学で学生たちとともに学ぼうとしてきたことは、仏教の概念でもなく、親鸞の教義でもなく、この深く広い眼差しを学ぶためだったのだということ、このごろ強く思う。

## 現役教員からのお便り

### お気に入りの場所

大谷大学教授(社会学) 阿部 利洋



日々通った大学のキャンパスを覚えていますか？教室や講堂の光景が目には浮かびますか？図書館で勉強する姿を思い出す人はすばらしい。学食や喫煙所が最初に来て、まあいいでしょう。そこで友人といろんなことを話したはずですから。

ところで、ゆっくり思い出すと、キャンパスの中に何となく気に入っている場所がありませんでしたか。小さくきしむ尋源館の階段とか、授業の合間にまどろ

むのに丁度よい響流館3階奥の長椅子とか、お香の幽玄なおいが漂う某先生の研究室とか、そういうたぐいの。

私にとっては正門の横に根を下ろす菩提樹で、好きなのはその実なのです(菩提子と呼ぶそうです)。小舟のような葉に実がいくつつかぶらさがる形をしており、秋には正門の周りにたくさん落ちています。風が吹くと、くるくる回りながら落下する様子も見られます。大きさ、葉のねじれの角度、実のついている場所など、一つ一つ少しずつ作りが違うので、すべての実が異なる回転で落下します。偶然強い風に吹かれて、離れたところへ運ばれていくものもある。一つ一つ、どのように回り、どこへ運ばれ、どこに落ち着くのか。こんなことを思いながら、道に落ちているのを見ると、つい拾ってしまいます。



退職された先生を想うこともあり、面白い意見を述べた卒業生の姿を重ねることもあります。

キャンパス来訪の際には、皆さんの密かなお気に入りの場所とともに、正門横の菩提樹に寄ってみるのはいかがでしょうか。季節がよければ、くるくる回る菩提子に我が身を重ねてみることもできるかもしれません。

大谷大学下宿紹介業務委託会社

株式会社 **フラットエージェンシー**

- 賃貸 ■ 不動産売買 ■ 管理 ■ 新築・リフォーム
- ホテル ■ テナント ■ マンスリー ■ コインパーク

北大路駅前店 〒603-8142 京都市北区小山北上総町43-5

**TEL:0120-44-0669**

オープンキャンパスの日に北大路駅前店にてお部屋探し相談会開催中!

大谷大学の学生なら この広告を提示で 仲介手数料 40%+税\*



\*他キャンペーンとの併用は不可です

(たくさんの受賞、認定、感謝状をいただきました)

地域未来牽引企業  
一経済産業省

第2回 これからの1000年を紡ぐ企業  
一京都市

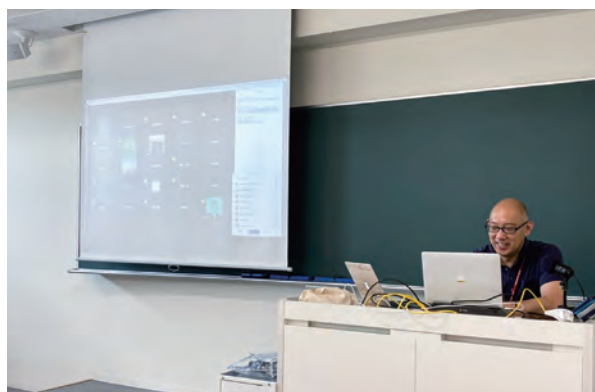
西賀茂のいえ グッドデザイン賞  
一公益財団法人日本デザイン振興会

## 新型コロナウイルスにおける大谷大学の対応について

大谷大学では、4月1日の入学式以降、入構制限を設けており学生の授業はWebを利用したオンライン授業を実施してきました。

遠隔授業を始めた当初は、教員、学生それぞれに不安や戸惑いなどが見られましたが、学内での情報共有を図り、ZoomやTeams、Webexを利用するにあたってのマニュアルを作成するなどにより、様々な工夫された授業が行われていました。今回の経験をもとに6月17日(水)には「ゼミ授業におけるZoomおよびMicrosoft Teams使用の実例」というテーマの大学院FD研修会も開催されました。

社会学部コミュニティデザイン学科の赤澤清孝准教授の「メディアと市民社会」では、Zoomを使用して主に第1学年の学生70名がオンライン授業に参加していました。



6月2日(火)に開講された授業では、京都府亀岡市の地域活性化に取り組ま

れている(株)ツナグムの並河杏奈さんにオンラインでのゲスト講師としてご協力いただき、この前回の授業で学生が視聴した「かめじん」という映画の製作目的や上映後の地域の変化について説明いただきました。

お話いただいている間にも、Zoomのチャット機能を使用して学生からは「亀岡がどんな街になってほしいですか」といった質問が出され、その質問に答える形で話が膨らんでいく様子が見られました。



北門の様子



ゼミでの対面授業

6月1日(月)からは隔週でのクラス面談日(登校可能日)を設け、第1、第2学年の学生から順次開校に向けて準備を行い、6月の最終週から前期期間の演習(ゼミ)においては、教室での対面授業を行うようにいたしました。



総合研究室



学内食堂

また、在学生の段階的な登校開始に合わせて、総合研究室や学内食堂等においてもソーシャルディスタンスなど感染拡大防止に取り組みながら、学内者対象の限定的な利用を再開しています。

大谷大学図書館では、4月からの入構禁止期間中の学生への対応として、図書の郵送での貸出、電子書籍の利用について案内を行いました。郵送での貸出は、6月末時点で延べ177名627冊の利用がありました。

大谷大学博物館では、入構禁止期間と重なり中止となった春の企画展「大谷大学のあゆみ 赤レンガの学舎」を

在学生の段階的な登校開始に合わせて夏季企画展(8月1日まで)として開催しています。入館は、学生など学内者を対象に火曜日から金曜日の午前10時～午後5時に限定しています。同窓生ほか一般の方にご来館いただける時期については、大谷大学ホームページでお知らせします。



図書館カウンター



図書館閲覧室





博物館カウンター



少人数での案内

## 2020年度の同窓会活動について

最新情報はこちらをチェック！

大谷大学同窓会



大谷大学同窓会では、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大谷大学、教育後援会と協議の上、3月の「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を中止いたしました。また、2020年度の事業として予定していました4月の理事会、5月の総会を書面による会議とし、7月に予定していました北陸地域での大谷大学フェア(北陸)を来年度に延期とし、大谷大学公開講演会は全日程とも中止を決定いたしました。

今後、開催予定のホームカミングデーや12月の大谷大学フェア(九州)につきましても、新型コロナウイルスの感染状況等に鑑み、検討して参ります。

現在、大谷大学公開講演会のオンライン配信を計画しています。さらに在学生への支援事業として学内食堂での特別支援割引、レトルト食品等を募り、主に下宿生を対象に配付することなどを検討しています。

それぞれ決定いたしましたらホームページ「無盡燈」でお知らせいたしますのでご確認ください。

### ◆ 大谷大学公開講演会

2020年度は全日程開催中止となりました。

### ◆ 第25回ホームカミングデー(予定)

2020年11月14日(土)開催

詳細はホームページでお知らせいたします。

### ◆ 2020年度大谷大学フェア(九州)開催(予定)

●大谷大学フェア(九州) <公開シンポジウム開催>

開催日程：2020年12月5日(土)

場 所：天神ビル(福岡県福岡市)

### ◆ 大谷大学公開講演会 オンライン講演会開催(予定)

開催日時 2020年9月6日(日)

開催内容

①12:30～13:30 平野 寿則 教授

「蛤御門の変と京都炎上ー幕末京都と東本願寺ー」

②14:00～15:00 ダシュ ショバラニ 准教授

「日本文化とインドの神々」

③15:30～16:30 一楽 真 教授

「コロナから明らかになった人間の問題」

※遠隔講演会の受講方法等については、8月上旬頃にホームページでお知らせいたします。

### 2019 年度大谷大学同窓会収支決算書

【収入の部】		【支出の部】	
科目	(単位 円) 決算額	科目	(単位 円) 決算額
1. 前年度繰越金	3,439,922	1. 事業費	8,607,413
2. 会 費	22,788,000	本部事業費	3,516,988
会費(1)	1,098,000	支部事業助成費	3,602,812
会費(2)	21,690,000	同期会・OB会等開催助成費	490,000
3. 入会金	3,615,000	学生会助成費	200,000
4. 寄付金	513,300	新入会員歓迎費	797,613
5. 同窓会基金取崩収入	0	2. 刊行費	2,246,015
6. 雑収入	508,691	無盡燈刊行費	1,687,329
7. 同窓会運用資金	25,000,000	印刷製本費	558,686
合 計	55,864,913	3. 事務費	3,503,169
		本部事務局費	10,566
		活動費	380,000
		通信費	3,112,603
		4. 旅費	5,131,642
		5. 会議費	1,206,558
		6. 委託費	1,934,135
		7. 雑費	200,950
		8. 同窓会基金繰入支出	73,092
		9. 同窓会活性化準備金	782,574
		10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000
		11. 予備費	0
		合 計	48,685,548

収入の部－支出の部＝7,179,365 (次年度繰越金)

### 2020 年度大谷大学同窓会収支予算書

【収入の部】		【支出の部】	
科目	(単位 円) 予算額	科目	(単位 円) 予算額
1. 前年度繰越金	7,179,365	1. 事業費	11,140,000
2. 会 費	24,600,000	本部事業費	5,840,000
会費(1)	600,000	支部事業助成費	1,700,000
会費(2)	24,000,000	同期会・OB会等開催助成費	700,000
3. 入会金	4,000,000	学生会助成費	200,000
4. 寄付金	500,000	新入会員歓迎費	2,700,000
5. 同窓会基金取崩収入	0	2. 刊行費	2,644,000
6. 雑収入	243,291	無盡燈刊行費	1,910,000
7. 同窓会運用資金	25,000,000	印刷製本費	734,000
合 計	61,522,656	3. 事務費	4,141,000
		本部事務局費	42,000
		活動費	380,000
		通信費	3,719,000
		4. 旅費	940,000
		5. 会議費	370,000
		6. 委託費	2,560,000
		7. 雑費	248,000
		8. 同窓会基金繰入支出	72,000
		9. 同窓会活性化準備金	1,500,000
		10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000
		11. 予備費	12,907,656
		合 計	61,522,656

# CAMPUS TOPICS

## キャンパストピックス

最新情報はこちらをチェック!

大谷大学



### ◆ 名誉教授の称号贈られる

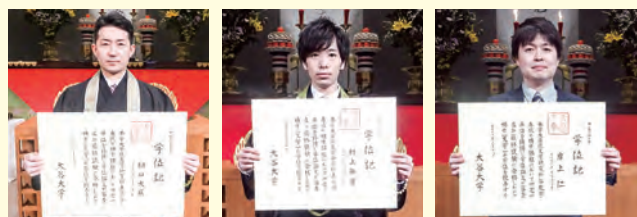
このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、大谷大学の教育上、また学術上、特に功績のあった先生に贈られる名誉教授の称号が以下の3名の先生方に贈られました。授与式は2020年4月1日に学長室において行われました。  
(総務課)



織田 頭祐 名誉教授 (仏教学)    門脇 健 名誉教授 (宗教哲学・宗教学)    藤本 芳則 名誉教授 (日本児童文学)

### ◆ 課程博士の学位を授与(2020/3/18学位記授与)

2019年度は、博士後期課程修了者6名に「博士(文学)」の学位が授与されました。  
(教務課)



樋口 大慈 氏 (真宗学)    村上 無量 氏 (真宗学)    岸上 仁 氏 (仏教学)



秦野 貴生 氏 (仏教学)    老泉 量 氏 (仏教文化)    更藏 切主 氏 (国際文化)

### ◆ 2019年度大谷大学教育後援会「文芸奨励賞」

大谷大学教育後援会が学生支援事業の一環として、在学生を対象に文芸作品を募集し、「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的として2006年度に創設された賞です。2019年度のテーマは「『寄りそう知性』-いま求められるもの-」。このテーマのもと198編の応募があり、16名が入賞しました。また、文芸奨励賞をより多く



### ◆ 同窓生による人事担当者交流会を開催



2019年11月25日(月)に、キャリアセンター主催による、本学同窓生が人事担当をされている企業の交流会が開催されました。今回の

交流会には、15社から16名の方々にご出席いただき、学生との情報交換会や人事担当者情報交換会が行われました。参加した学生からは、「人事担当者は面接時にどこを見ているのか」や、「学生時代に何をしていたら就職に有利なのか」といった、セミナーや説明会等では聞きにくい質問がされていました。

人事担当者の情報交換会では、人事担当としての悩みを話したり、また、その悩みについて自身の体験に基づいたアドバイスをもらうなど、先輩・後輩らしい会話が弾んでいました。情報交換会に引き続いて、懇親会を開催し、交流を深めることができ大変有意義な会となりました。

キャリアセンターでは、今後もこのような交流会を計画していきます。採用をご担当されておられる同窓生の方は、キャリアセンターまでご一報ください。今回の案内をお送りいたします。  
(キャリアセンター)

TEL: 075-411-8118(キャリアセンター直通)



の方々を知っていただくために、書道部に協力いただいて2019年度入賞作品を書作品にしました。書作品の公開期間等、詳細については大学ホームページでご確認ください。  
(学生支援課)



2019年度  
受賞作品はこちら





### ◆「京都・中川まんまビール!」を開発

2020年2月に、無盡燈144号の「輝く☆同窓生」で紹介しました、同窓生の松尾浩久さんが理事長を務めるNPO法人HEROESと大谷大学地域連携室(コミュ・ラボ)が共同で、茶葉を使用したオリジナルビール「京都・中川まんまビール!」を開発しました。

このビールに使用されている茶葉は、社会学部コミュニティデザイン学科の志藤ゼミで、京都市の中川地区で行っている活動に参加した学生が、茶摘みからせいろ蒸し、手もみ、炭火で煎る工程を経て完成させた「まんま茶」で、日本に伝わった当時のお茶の原種そのままに近い品種だそうです。

今後も春と秋に茶摘みを行い、まんまビール!を製



造していく予定です。まんまビール!の売り上げの一部は高齢化の進む中川地区での学生による地域づくりの活動に使用されます。ぜひご購入いただき、学生たちの活動の支援をお願いいたします。(教育研究支援課)

注文はこちら <https://www.762npo.jp/>

※数量限定です。今回の醸造分はおかげ様で完売となりました。次回の醸造は秋茶葉の収穫後の予定です。



### ◆ 人事情報

(2019年5月1日～2020年4月30日)

#### 執行部の交代

【大谷大学長(第28代)  
兼大谷大学短期大学部学長】  
木越 康(再任)  
(任期は2022年3月31日まで)

#### 【学監・副学長】

高井 康弘

#### 【教育・学生支援担当副学長兼文学部長】

平野 寿野

#### 【学生部長】

山田 恵文

#### 【入学センター長】

田中久美子

#### 【社会学部長】

志藤 修史(再任)

#### 【教育学部長】

森田 裕之

#### 【大学院文学研究科長】

村山 保史

#### 【短期大学部長】

太田 智子(再任)

2020年4月1日付(各通)

#### 館長等の交代

##### 【図書館長】

山本 貴子

##### 【博物館長】

國賀由美子(再任)

##### 【人権センター長】

福島 栄寿(再任)

##### 【学寮長】

箕浦 暁雄 2020年4月1日付(各通)

#### 幼稚園長の交代

##### 【大谷幼稚園長】

竹田ひとみ(再任) 2020年4月1日付

#### 定年退職

##### 【教育職員】

赤瀬 知子(教授/文学部)

織田 顕祐(教授/文学部)

加藤 丈雄(教授/文学部)

門脇 健(教授/文学部)

2020年3月31日付(各通)

#### 契約期間満了による退職

##### 【教育職員】

荒瀬 克己(特別契約教授/文学部)

徳岡 博巳(特別契約教授/短期大学部)

藤本 芳則(特別契約教授/短期大学部)

小川 健一(特別契約准教授/短期大学部)

井上 裕樹(任期制講師/短期大学部)

小川 晴美(任期制講師/短期大学部)

香川 周子(任期制講師/短期大学部)

##### 【事務系嘱託】

井尻 美帆(企画・入試部)

井上 輝美(教育研究支援部)

岡田 明子(学生支援部)

北村比佐絵(企画・入試部)

實平久望子(企画・入試部)

塩田訓仁子(総務部)

清水由香里(総務部)

中井 裕美(学生支援部)

樋口 孝司(教育研究支援部)

宮野 智(総務部)

村田奈緒子(教育研究支援部)

若松 貴子(学生支援部)

##### 【寮監】

谷口 愛沙(自灯学寮)

廣田 至(貫練学寮)

##### 【教職アドバイザー】

吉川 栄一 2020年3月31日付(各通)

##### 【学習支援アドバイザー】

田鍋 良臣

萬田 恵子

2019年9月30日付(各通)

瀬戸奈美子

平野和歌子

松永 歩

##### 【PD研究員(真宗総合研究所東京分室)】

西村 晶絵 2020年3月31日付(各通)

#### 依願退職

##### 【教育職員】

田中 潤一(准教授/教育学部)

岩本真利絵(任期制助教/文学部)

服部 徹也(任期制助教/文学部)

光川 真翔(任期制助教/文学部)

2020年3月31日付(各通)

##### 【事務職員】

相馬 晃(学生支援部)

水谷 賢雄(総務部)

2019年5月31日付(各通)

尼崎 皆登(総務部)

八木 孝枝(教育研究支援部)

2020年3月31日付(各通)

#### 新規採用

##### 【教育職員】

佐藤 愛弓(准教授/文学部)

戸次 顕彰(講師/文学部)

鳥越 覚生(任期制助教/文学部)

秦野 貴生(任期制助教/文学部)

村上 無量(任期制助教/文学部)

##### 【事務職員】

久能 佳歩(総務部)

黒田美奈子(学生支援部)

野口 直樹(学生支援部)

##### 【事務系嘱託】

麻生 量(教育研究支援部)

岩崎 千裕(教育研究支援部)

岩田 麻子(教育研究支援部)

植川佳菜江(学生支援部)

小笠原麻衣(学生支援部)

神田 綾乃(総務部)

米谷 真結(総務部)

権藤 絢子(企画・入試部)

富田 早紀(企画・入試部)

夏 知子(企画・入試部)

前原利佳子(総務部)

八木 美重(企画・入試部)

##### 【寮監】

板先 唯人(貫練学寮)

##### 【教職アドバイザー】

桂 康彦

##### 【学習支援アドバイザー】

阪本 佳郎

服部久美恵

林 峰子

萬田 恵子 2020年4月1日付(各通)

#### 昇格

##### 【教授】

中川 眞二(文学部)

##### 【准教授】

川端 泰幸(文学部)

西本 祐攝(文学部)

2020年4月1日付(各通)

#### 所属変更

##### 【幹事】→【大谷幼稚園副園長】

本田 求

2020年4月1日付

# 同期会 OB・OG会 開催報告

2019年4月上旬～2020年2月下旬に行われた各団体の行事を紹介しています。開催報告のコメント等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

\*ホームページでは写真を拡大してご覧いただけます。



<http://www.mujiinto-otani.org/activity/kokuti.html>

2019.04.01

2010年度卒業  
短期仏教科 同期会



2019.04.13

大谷大学 1968年度入寮  
自灯学寮2期生同期会



2019.04.20

2002年卒業  
文学部真宗学科  
延塚知道ゼミ同窓会



2019.04.22

1984年度入寮  
第8回大谷大学知真学寮  
第1期生同期会in東京



2019.05.14-16

大谷大学33(粲粲)同期会  
in 南九州大会



2019.05.17

大谷大学1961(昭和36)年  
卒業同窓会IN名古屋  
傘寿を越えて



2019.05.21

1974年入学  
短期仏教科 同期会



2019.05.25

大谷大学史学科1976年  
(昭和51年)入学  
フランス語I-Gクラス同窓会



2019.05.30-31

1967年入寮  
洗心学寮同期会



2019.05.30-31

第43回 浄眼洞  
(山田亮賢先生門下生の会)



2019.06.06

1968(昭和43)年入学  
雲井昭善先生クラス  
「雲の糸」同窓会



2019.06.08

1998年入寮  
貫練学寮 同期会



2019.06.13-14

1964(昭和39)年度  
大谷大学下鴨学寮入寮者  
同窓の集い



2019.06.15

1977年入寮  
育英学寮同期会(忘憂会)



2019.06.15

剣道部講武会  
総会・現役との合同稽古



2019.06.17-18

短期大学部仏教科  
1967年度卒業 同期会





2019.06.19

1968年入寮  
大谷大学育英学寮生  
古稀記念同期会



2019.06.23-24

十練会  
(1989年入学貫練学寮  
10期生同窓会)



2019.07.03

貫練学寮第3期生  
(1982年入寮)同期会



2019.07.06

大谷大学  
バスケットボール部  
OB・OG会



2019.07.06

1991年3月卒業 大谷大学  
文学部史学科  
東洋史学コース 同期会



2019.07.21

大谷大学硬式野球部OB会



2019.07.28-29

1976年度入寮  
育英学寮同期会



2019.08.04

2000年3月卒業  
文学部ドイツ文学コース  
同期会



2019.08.07

修士課程寺川ゼミ同窓会



2019.08.20-21

大谷大学社会学科  
1963年度卒業クラス会



2019.08.24

1978～1983年度入学  
映画研究部OB・OG会



2019.08.24

浄影会  
(古田和弘ゼミ同窓会)



2019.09.02-03

1967年入寮  
自灯学寮1期生 同期会



2019.09.08

道交会総会  
(柔道部OB・OG会)



2019.09.18-19

1970年前後卒業  
能楽部OB・OG会



2019.09.28

大谷大学弓道部  
OB・OG会  
直心行射会



2019.09.29

混声合唱団OB・OG総会



2019.10.05

2019年度卓球部後援会  
総会・懇親会・卓球大会



2019.10.07-08

自灯学寮  
1972年度(昭和47年度)  
入寮生同期会



2019.10.19

国文学会





2019.10.19

2007年入寮  
貫練学寮同期会



2019.11.09

宮崎健司先生還暦御祝い  
「大同窓会」



2019.11.09

第44回谷雪会 総会  
(スキー競技部OB・OG会)



2019.11.09-10

鈴木幹雄先生  
池上哲司先生  
倫理学コース 同窓会



2019.12.03

2018年度卒業  
短期学部仏教科同期会



2019.12.07

2001年卒業  
藤島建樹ゼミ 同窓会



2020.01.18

1981年度卒業  
堅田 修ゼミ 同期会



2020.02.08

2013年3月卒業  
小川 健一ゼミ 同期会



2020.02.08

陸上競技部創部  
95周年記念式典



2020.02.09-10

1983年入寮  
貫練学寮第4期生同期会



2020.02.14

男声合唱団OB会  
コールリデンクラブ  
総会・懇親会



2020.02.21

織田顕祐先生  
ご退職記念謝恩会



2020.02.22

門脇健教授のご退任に  
ともなう最終講義  
および謝恩会



2020.02.23

井上尚実先生の  
還暦を祝う会



2020.02.28-29

1995年入寮  
知真学寮同期会



2020.02.29

2013年入寮  
貫練学寮同期会



◆ 2020年度役員一覧

会 長 石橋 義秀  
副 会 長 柴田 達也  
副 会 長 吉田 法純  
理 事 長 一楽 真  
常務理事 井上 恵二  
常務理事 高木 文善  
常務理事 速水 馨

理 事 奥村 豊  
理 事 加藤 隆昭  
理 事 菅原 信顕  
理 事 竹園 関  
理 事 難波 明則  
理 事 原 直樹  
理 事 藤原 憲

理 事 村上 秀磨  
理 事 和田 一丸  
監 事 長谷岡英信  
監 事 藤坂 初裕  
顧 問 木越 康  
常務理事 高井 康弘  
常務理事 岡本 学

常務理事 平野 寿則  
常務理事 采華 晃  
常務理事 山田 恵文  
常務理事 中島 弘喜  
理 事 東館 紹見



## 同期会／OB・OG会 開催について

同期会、OB・OG会開催にあたり、同窓会本部では以下のサポートを行っています。開催の際はぜひご連絡ください。  
 (※以下のサポートは、対象者すべての方への案内(例：ゼミ全員に案内)が条件となります。)

**Support 1** 大学施設の利用・見学ができます。

●学内施設または湖西キャンパスセミナーハウスで開催ができます。 ●学内でのケータリングが可能です。  
 ※希望される場合は、日程等を決定する前に、同窓会本部へご相談ください。学内見学も随時受付けています。

**Support 2** 連絡用名簿・宛名ラベルの提供ができます。 ※申請書受付後、提供までに1週間～10日程かかります。

**Support 3** ホームページ「無盡燈」に開催告知を掲載します。

**Support 4** 開催助成費(1万円／2020年1月現在)の補助を行っています。

●通信費の一部として補助を行っています。一定の条件がありますので、詳細は同窓会本部までお問い合わせください。

**Support 5** 写真を掲載し、ホームページ「無盡燈」には、開催報告(写真およびコメント)の掲載をします。

### 開催スケジュール

- ① おおよその開催日・開催場所を決定。  
↓
- ② 同窓会本部へ TEL またはメールで連絡。  
★幹事名、「同期会開催届」の送付先、名簿・宛名ラベルの必要有無を連絡してください。  
↓
- ③ 「同期会開催届」を開催1ヵ月前までに提出。  
★同期会、OB・OG会では、対象者すべての方に案内(例：ゼミ全員、OB・OG全員に案内)を行ってください。  
↓
- ④ 開催助成費(1万円)を幹事へ送付(現金書留)。  
↓
- ⑤ 開催当日  
★開催報告用に、集合写真を撮影してください。  
↓
- ⑥ 開催後、1ヵ月以内に同窓会報『無盡燈』掲載用の「集合写真」、「コメント(200文字以内)」を同窓会本部へ提出。

## 同窓会費の納入について(協力ご依頼)

同窓会は、同窓の皆さまにご納入いただく「同窓会費(終身会費と年会費)」と「寄付金」を活動資金として事業を行っています。同窓会活動にご理解とご支援を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### <会員区分について>

卒業年度により「会員区分」が異なります。ご自身の会員区分をご確認いただき、「同窓会費(終身会費と年会費)」または「寄付金」のご納入をお願いいたします。

なお、同窓会報『無盡燈』の宛名ラベルに所属の会員区分が記載されています。

	会員区分	ご依頼内容
一般会員	①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会員」ではない方	同封の振込取扱票(振込手数料無料)を使用し、以下の【A】【B】のいずれかの方法により、会費納入をお願いいたします。 【A】毎年、「年会費 3,000円」を納入する。 【B】「終身会費 30,000円」を納入し、終身会員に変更する。 振込取扱票を使用されない場合は、以下の口座に振込をお願いいたします。 <同窓会費専用 振替口座(ゆうちょ銀行)> 口座番号 01020-9-20542 加入者名 大谷大学同窓会本部
終身会員	①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会費 30,000円」を納入した方 ②1991年度以降の卒業・修了生のうち、卒業・修了年次の学費納入時、「終身会費30,000円」を納入した方	同封の振込取扱票(振込手数料無料)をご利用いただき、寄付金の納入にご協力をお願いいたします。

<お問合せ先>

**大谷大学同窓会本部** (大谷大学校友センター内)

開室時間 9:00～17:00 (11:30～12:30 土・日・祝のぞく)

TEL 075-411-8124 FAX 075-411-8157 E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp



## 小野 蓮明名誉教授を偲んで

2019年11月27日、小野蓮明先生がご逝去された。定年退職後、大病を患ってからはご自宅で静養されておられたが、ご家族の献身的なサポートのもと、お元気であるとお伺いしていたので、突然の悲報に驚いた。

先生は、大谷大学文学部をご卒業後、大学院では宗教学を専攻し、西谷啓治先生のご指導のもと宗教哲学を学ばれた。その後、真宗学科に戻られて、助教時代には『願と信－親鸞の主体性論－』（1982年）を上梓された。先生の関心は、宗教的なる人間の究明にあり、それを親鸞思想から解明することにあった。一貫してこの課題に取り組み、1998年にこれまでの研究成果を博士論文にまとめられ、『本願の行信道－親鸞の信仰主体性論－』（2000年）として出版された。

私が先生と初めてお会いしたのは、大学院入試の時であった。面接の時に私の研究課題を熱心に聞いて下さるお姿が心に残り、入学後は先生のゼミでのご指導をお願いした。先生は親鸞思想に真摯に向き合いながら、いつも私たちに情熱を持ってその思想の積極性をお話し下さった。

先生とご縁をお持ちの方なら誰もがご存じであろうが、先生は妙なる声をされていた。大学での講義も、講演会などのお話しも、中低音のよく響く声に誰もが魅了されたことであろう。その声色は、先生の励ましのお言葉とともに、今でもしっかりと耳に残っている。

先生の優しい人柄と、研究に対する厳しい眼差しに多くの方がお育ていただいたことと思う。ここに謹んで先生からいただいた学恩に謝意を表したい。

大谷大学准教授 山田 恵文



## 大桑 齊先生を偲んで

2020年4月14日に名誉教授の大桑齊先生が逝去された。享年82歳であった。大桑先生は1937年11月19日、石川県金沢市材木町の善福寺に誕生された。金沢大学法文学部史学科国史学専攻を卒業後、本学大学院文学研究科博士課程仏教文化専攻を経て、1969年に文学部助手として奉職された。1974年に専任講師に着任し、1984年には教授となられ、2003年の定年退職まで35年にわたって教鞭をとられた。

ご研究は日本近世の仏教史、思想史、そして真宗史からなり、その成果は『寺檀の思想』をはじめ、『日本近世の思想と仏教』『シンポジウム徳川イデオロギー』『論集仏教土着論』『近世の王権と仏教』『本願寺教如教団形成史論』など、多数の著作として刊行されており、学界に裨益するところは大変に大きい。また、近世仏教研究会や日本宗教学史懇話会の活動に尽力すると共に、大谷大学日本史の会代表・仏教史学会会長など学会の要職も務められた。

学生への指導は厳しかったが、その多様な関心に耳を傾け、適切な助言をもって指導にあたられていた。とくに授業での発表の折、学生が配布した資料を丹念に確認する姿は印象的で、そのうち、黒板全体をつかって理論を整理し、歴史的な課題を導き出しいく様子は、先生の頭の中を見ているようで深く感銘を覚えた。公私共どもに賜った御恩に心より感謝を申し上げ、ここに謹んで哀悼の意を表します。

大谷大学教授 平野 寿則



## 井川 利尾先生を偲んで

2019年6月19日、66歳で井川利尾先生がご逝去されました。余りに早い訃報に大変驚きました。

井川先生は、埼玉大学教育学部小学校課程を卒業後、京都市立小学校7校で教諭としてお勤めになり、その後、京都市教育委員会総合教育センター図画工作科指導主事として教員の指導力向上や学校の校内研究の伸展に尽力されました。京都市立宇多野小学校校長時代には、文部科学省の教育課程研究指定校事業として「表現と鑑賞との関連を深め育成すべき資質や能力を明確にした授業デザイン」について研究をされ、2012年に全国から多くの参加者を迎え成果報告会を開催されました。

2013年3月に京都市立宇多野小学校を定年退職、4月に大谷大学に任期制講師として着任され、教科(図画工作)、初等科教育法(図画工作)、教育・心理学演習等をご担当されました。日常生活の中で豊かに感じ取る体験を積み重ね感性を培うこと、発想力や構想力を生かして創り出す喜びを味わうことが大切であると常々学生にお話しになり、きめ細かく丁寧な指導をされていました。校長時代に大きな手術をされましたが、「大谷大学に寄せてもらってとても身体の調子がよくなった。夏の休暇に屋久島に行って縄文杉を見たが、生命の不思議を感じた。」と生き生きとお話しになっていたことを思い出します。

教員としての自分の人生に思い残すことはないとおっしゃって旅立たれたと奥様からお聞きました。ただ一つ心残りがあるとすれば御息の結婚式に参列できなかったことだということです。

教育・心理学科で一緒に仕事をさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。どうぞ安らかに眠りください。

大谷大学教授 市川 郁子



( )内は最終卒業・修了年度(敬称略)  
年月日はご逝去された日付・五十音順

### 敬弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで  
哀悼の意を表します。

※同窓会本部 2020年3月31日現在  
掌握分

川原 美衣	文学部	(1985)	2010.05.10	平林 誠悦	文学部	(1963)	2019.05.25
石黒 裕子	短期	(1986)	2015.01.26	山名 智月	大専門	(1944)	2019.05.28
大澤 雄慈	文学部	(2009)	2017.05.11	藤本 昭文	文学部	(1963)	2019.05.29
小川 浩	文学部	(1958)	2017.10.24	直江 智成	文学部	(1963)	2019.05.30
加茂 淳光	文学部	(1955)	2017.12.04	手嶋 元	文学部	(1960)	2019.06.01
児玉 保修	士	(1959)	2018.05.13	藤井 進	文学部	(1953)	2019.06.05
平山 光男	文学部	(1971)	2018.07.14	伊東 唯昭	文学部	(1976)	2019.06.06
松本 耀導	文学部	(1955)	2018.07.27	三浦 大右	文学部	(1964)	2019.06.12
兵藤二三夫	文学部	(1958)	2018.08.23	井川 利尾	会友		2019.06.19
松本文雄	大専門	(1947)	2018.09.05	亀井 誓	短期	(1952)	2019.06.21
阿野 了慶	文学部	(1961)	2018.10.03	相馬 博圓	大予科	(1944)	2019.06.25
藤枝 義宣	文学部	(1961)	2018.10.14	藤原 一章	大学部	(1949)	2019.06.25
西山 徹	文学部	(1955)	2018.10.16	藤井 恒之	文学部	(1952)	2019.06.29
鈴木 英孝	文学部	(1962)	2018.11.15	杉野 勝典	短期	(1955)	2019.07.04
清雄 俊之	文学部	(1956)	2018.12.11	西窪 了慈	文学部	(1955)	2019.07.04
大塚 晃	短期	(1953)	2018.12.15	吉原 慶法	文学部	(1955)	2019.07.05
千々岩佳紀	文学部	(1982)	2018.12.18	太子堂正悟	文学部	(1965)	2019.07.10
山腰 勇	大専門	(1943)	2018.12.27	前田 暁男	文学部	(1957)	2019.07.17
畑 亮	文学部	(1963)	2018.12.28	小峰 恭丸	大専門	(1947)	2019.07.20
横田 好章	文学部	(1968)	2019.01.07	龍 唯信	文学部	(1982)	2019.07.30
藤 知行	修士	(1973)	2019.01.14	松倉 義夫	文学部	(1975)	2019.08.01
北條 恵詔	短期	(1962)	2019.01.14	中島 都	文学部	(1962)	2019.08.09
吉崎 正臣	短期	(1958)	2019.01.17	蔵多 邦春	文学部	(1964)	2019.08.14
菊地 泰陽	文学部	(1957)	2019.02.05	和田 至紘	文学部	(1965)	2019.08.14
橋本 朝陽	文学部	(1968)	2019.02.05	三浦 弘宣	文学部	(1958)	2019.08.24
喜多 徹	文学部	(1995)	2019.02.10	小林さとみ	文学部	(1995)	2019.08.28
箕打 正純	大学部	(1947)	2019.02.22	石山 直哉	文学部	(1988)	2019.09.03
山崎 常慧	短期	(1966)	2019.02.25	菴澤 紹隆	文学部	(1966)	2019.09.03
堀 定正	大学部	(1947)	2019.02.28	平松 力	文学部	(1961)	2019.09.09
堀 亮昭	大学部	(1950)	2019.03.03	小倉 喜信	文学部	(1960)	2019.09.16
石倉 奈月	文学部	(1996)	2019.03.04	虎石 秀	文学部	(1974)	2019.09.19
本谷 義治	文学部	(1957)	2019.03.04	藤尾 信明	短期	(1975)	2019.09.26
松木 淳一	文学部	(1993)	2019.03.21	三島 忠陽	文学部	(1955)	2019.09.28
村上 元	大学部	(1952)	2019.04.06	塚谷 宣也	大学部	(1951)	2019.10.07
鈴木 順丸	文学部	(1968)	2019.04.08	菅原 和明	文学部	(1956)	2019.10.22
春日 聖之	文学部	(1958)	2019.04.09	喜多 智門	文学部	(1967)	2019.10.24
鍵主 良英	文学部	(1960)	2019.04.17	千賀 雅夫	文学部	(1968)	2019.10.26
雲根 智	文学部	(1955)	2019.04.19	辻岡 法諦	文学部	(1957)	2019.10.31
出雲路康彦	短期	(1960)	2019.04.23	宮野 昭憲	大学部	(1954)	2019.11.01
北岡 水絵	文学部	(1973)	2019.04.23	金田 欣笑	大学部	(1954)	2019.11.09
居多 徳恵	文学部	(1976)	2019.05.06	野村 和善	文学部	(1979)	2019.11.20
山名 義範	文学部	(1960)	2019.05.06	小野 蓮明	博士	(1968)	2019.11.27
藤岡 了賢	文学部	(1964)	2019.05.14	齊藤 昭	文学部	(1952)	2019.12.22
井手 睦美	文学部	(1959)	2019.05.15	龍口 恭子	博士	(1973)	2019.12.31
織江 祐智	文学部	(1960)	2019.05.21	堀田 直紀	文学部	(1972)	2020.01.30
木嶋 孝章	文学部	(1987)	2019.05.25	鷲山 宣裕	文学部	(1972)	2020.02.18

### ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。  
( )内は最終卒業・修了年度(敬称略) ※同窓会本部 2020年3月31日現在 掌握分 結婚式日順

藤原 智 (2009 博士)	♥	福井 怜子 (2008 文)	相馬 尚 (2004 文)	♥	井上 朋子 (会友)
井上 教真 (1997 修士)	♥	澤岷 美絵	稲葉真希人 (2013 文)	♥	門川 恵梨
兵頭 祥典 (会友)	♥	上岡亜祐美	玄田 了	♥	香春 萌 (2010 文)
廣瀬 啓 (2014 修士)	♥	畑 知杏 (2012 文)	古川 昌樹 (2011 修士)	♥	盛田 智子 (2010 文)
半田 将人	♥	松尾 怜香 (2012 文)	森脇 公久 (会友)	♥	高原 昌美
中村 智行 (2014 文)	♥	鈴木 未央 (2014 文)	中岡 裕哉 (2016 文)	♥	小川 束紗 (2014 文)

※大谷大学尋源講堂での仏前結婚式をお受けしています。お問い合わせは、大谷大学総務課 (TEL 075-411-8163) まで。



## 部活紹介

### ～サッカー部～



こんにちは、サッカー部です。私たちは5月現在、第4学年5人、第3学年3人、第2学年6人の14人で活動しています。活動内容としては、練習は平日が水、木、金の18時～20時、土、日は10時30分～13時の週5回行っています。場所は滋賀県にある大谷大学湖西キャンパスグラウンドにて活動しています。大学から送迎バスが出ていますので詳しくは下に記載しております当部活の公式SNSにお尋ねください。試合に関しましては、土、日のいずれかに公式戦を行う、もしくは練習試合を組んでおります。

新入生につきましては目立った勧誘はしておりませんが、入部をいつでもお待ち

ています。大学からサッカーを始めた人も在籍しておりますので、サッカー未経験者も大歓迎です。初回の練習に足を運びにくい場合や何かわからないことがある場合、当部活のSNS[Twitter(@otani\_football)・Instagram(@otani.univ.soccer)]宛てに質問等、気軽にご連絡ください。まずは体験練習をしてもらい、部活についてもっと知ってもらえればと思います。まだまだ人数が少ないので、たくさんの方が入部していただけることを心待ちにしております。また試合内容や活動の写真も随時アップしていますので入部希望者以外の方のフォローもお待ちしております。

サッカー部は体育会としてサッカーを通じた人間育成をテーマに掲げながら、2部昇格を目標に頑張っていますので、これからも応援よろしく願い致します。

サッカー部 主将 井上 那斗

## 卒業後も大学を利用しよう！

卒業後も、大学で利用できるサービスがあります。



### 図書館・博物館のご利用

同窓生は、大谷大学の図書館、博物館(特別展無料)を利用することができます。ただし、図書館の利用には、利用証申請手続きが必要です。詳細については、大学ホームページをご確認ください。

▶

▶



### 各種証明書の申込み

証明書等の発行については、お電話または窓口で申し込むことができます。発行には手数料が必要となります。詳細は大学ホームページをご確認ください。

▶



### ご住所の変更連絡

同窓会本部では、同窓会員の住所・氏名を管理しています。会報誌、同期会等各種郵送物の宛先となりますので、氏名・住所に変更がある場合は、同窓会本部へご連絡または、以下のメールフォームをご利用ください。

大谷大学ホームページ 会員の住所変更  
<http://www.otani.ac.jp/kouyuu/nab3mq00005lgd2.html>



### ご結婚のお知らせ

同窓会員がご結婚される際には、同窓会より祝電をお送りします。また、同窓会報『無盡燈』にてご結婚のご報告させていただきますので同窓会本部(TEL 075-411-8124)へご一報ください。

### 大谷大学内で仏前結婚式

大谷大学の尋源館2階にある尋源講堂で、仏前結婚式を行うことができます。尋源館は登録有形文化財として登録されています。思い出の大学での結婚式を検討される際は相談ください。



▶ 仏前結婚式の問合せ先

大谷大学総務課 TEL 075-411-8163



### 同期会、OB・OG会の開催について

詳細は、P.19をご確認ください。



## 教育振興資金寄付者 (敬称略)

(2019年4月1日～2020年2月29日)

大谷大学・大谷大学短期大学部では、教育研究環境の一層の充実を図るため、「教育振興資金事務局」を設置し、募金活動を行っています。

2019年4月1日から2020年2月29日までの間に、ご寄付をいただきました方々は次のとおりです。ご寄付いただいた資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後とも、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年4月1日～2020年2月29日 寄付者総数 41件  
寄付金総額 11,283,000円

個人	青木 琢也 (愛知県)	浅田 純 (長崎県)	岩田 理恵 (三重県)	小野 蓮明 (石川県)
	小野内悦二郎 (京都府)	加藤 隆至 (広島県)	佐々木真也 (滋賀県)	難波 明則 (大阪府)
	長谷川 誠 (愛知県)	本多佐保美 (千葉県)	安田 智之 (京都府)	吉川 彰 (兵庫県)
	渡辺 智香 (神奈川県)	佐々木憲一 (大阪府)	高尾 和人 (新潟県)	中原 浩治 (兵庫県)
	藤井 了栄 (山形県)	松岡 祥子 (石川県)	吉原 保 (大阪府)	匿名 13件

法人・団体	有限会社 石間企画事務所 代表取締役 石間 裕 (東京都)
	キノビクス株式会社 代表取締役 齋藤 隆夫 (滋賀県)
	真宗大谷派 江善寺 (熊本県)
	株式会社昭和電業社 代表取締役 多和 正博 (京都府)
	株式会社フラットエージェンシー 代表取締役 吉田 創一 (京都府)
	1983年入寮貫練学寮第4期生同期会 (京都府)
真宗大谷派玉蓮寺東本願寺本廟奉仕研修代表 玉蓮寺住職 白木澤 真一 (宮城県)	
匿名 2件	

※本寄付は学校法人真宗大谷学園に対する寄付であり、税法上の優遇措置を受けることができます。

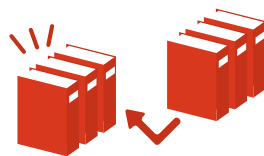
### 【寄付のお申し込み／お問い合わせ先】

大谷大学教育振興資金事務局 京都市北区小山上総町 (大谷大学校友センター内) TEL 075-411-8124

# OTANI古本Project

ヒロガル×ツナガル 学生支援

OTANI UNIVERSITY USED BOOK DONATIONS



このプロジェクトは、読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付することで、寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は大谷大学在学生在が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等となる寄付事業です。古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会にぜひ、「OTANI古本Project」にご参加ください。

2018年6月から2020年3月までに延べ37名の方から、3,211冊(59,884円分)の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 🗨️ 手続きの方法は？


- ①書籍をダンボールに入れる。
- ②電話(バリューブックス ☎0120-826-292)かWEBで集荷を依頼する。(※5冊以上であれば送料無料で。)

#### 🗨️ どのような仕組みですか？

古本を寄付 古本の集荷・仕分け・買取 大学図書購入費用等へ  
同窓生のみなさま 株式会社バリューブックス



#### 🗨️ 以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

- ISBNのない本
  - ISBN見本  ISBN978-4-1234-5678-9
  - 百科辞典 ● コンビニコミック
  - 個人出版の本 ● マンガ雑誌 ● 一般雑誌
- ※上記の本が混入していても、費用の負担などは生じません。

詳しくは  WEBをご覧ください。

📞 問合せ先 大谷大学教育振興資金事務局(大谷大学校友センター内)  
TEL 075-411-8124(平日9:00～17:00)

#### 📄 お申込みに関してのご注意

買取額は市場価値等を考慮して(株)バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや、値段がつかないこともございます。お申込みの際は、その点をご理解くださいますようお願いいたします。

## 2020年度 大谷大学博物館 開館情報

### ▶ 夏季企画展 大谷大学のあゆみ 赤レンガの学舎

会 期：8月1日(土)まで

休館日：日曜日・月曜日 観覧料：無料

### ▶ 秋季企画展 大谷大学博物館の逸品 重要文化財『春記』【実習生展併催】

会 期：2020年11月10日(火)～11月28日(土)

休館日：日曜日・月曜日(※ただし、11月23日(月)は特別開館) 観覧料：無料

### ▶ 冬季企画展 京都を学ぶ(仮)

会 期：2021年1月7日(木)～2月13日(土)

休館日：日曜日・月曜日、1月16日(土)、2月11日(木・祝) 観覧料：無料

開館時間は、いずれも10：00～17：00(入館は16：30まで)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止の場合がございます。当館ホームページをご確認ください。

大谷大学博物館

〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL 075-411-8483  
[http://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

## 表紙絵 「飛躍」

138×90cm 2020年作

私が渡印した直近は2月の前半でした。帰国頃にはすでにコロナウイルスの恐れでデリーの空港内は全員がマスク姿で、今までにない異様な光景でした。帰国するとオリンピックをするとかしないとかでした。そのうち、オリンピックが一年延期になり、習近平中国国家主席来日が不可能になった途端、コロナウイルスのことを大きく言いはじめ今日に至っています。ワクチンか治療薬が開発されない限り終息しそうにありません。

自分の事は自分で守らないと、誰も守ってくれません。「天上天下唯我独尊」。私自身の立ち位置を考える時と思います。全ての行動も私自身が正しい行動をとるところが基本です。それが近い人、国そして全ての世界中の人々の事とつながらねばなりません。

オリンピックの基本は「世界中の人が参加することに意義がある」でしたが、変貌してしまいました。文化やスポーツの力はこれからが試されます。次々と新人が台頭しています。しかし若人でもじきに老人となります。

日本には古来より「芸術論」といったものが極めて少ないのです。世阿弥の「風姿花伝」には、年令ごとの行わなければならないことが端的に書かれています。若人はすばらしい。才能だけではない日々の努力によって、大きく飛躍してほしいものです。また学問にも終わりがありません。学べば学ぶことによって問いが生じてくるものです。

畠中 光享(1970年度文学部卒)

日本画家 インド美術研究者

2020年8月1日発行

発行 大谷大学同窓会本部

編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内

TEL (075)411-8124 FAX (075)411-8157

E-mail : kouyu@sec.otani.ac.jp

同窓会ホームページ <http://www.mujiinto-otani.org/>

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、譬えば一つの燈をもって百千の燈をともしようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることがない。…説かれた教えのとおりにもみずから一切の善いことながら増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。

ホームページ「無盡燈」毎月1回更新！

大谷大学同窓会



WEBやSNSでは、同窓会の活動や同窓生の活躍、母校「大谷大学」の現況などの情報をタイムリーに発信しています！